

行政評価シート【重点戦略】

重点戦略 4 - (2)

生活拠点づくりを推進する

基本的な方向性

- 生活利便施設¹の誘導や既存ストックの活用によって、各生活圏への機能集積を促すとともに、各拠点における魅力向上を図るほか、西部地域では地域資源の活用を推進します。

1 医療・商業施設など日常生活に必要な施設のこと。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
平塚駅周辺における共同建て替え相談件数【累計】	-	4 件				4 件
魅力化実施店舗 ¹ 数【累計】	70 店舗	80 店舗				95 店舗
市民主体のまちづくりに向けた意見交換 ² の実施回数	9 回	13 回				14 回

1 来店者が楽しく買い物できるよう店舗改修やオリジナルの商品開発、ものづくり体験など魅力的なサービスの提供等を実施していく店舗のこと。

2 郊外部における地区まちづくり協議会や自治会との意見交換等のこと。

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・ 居住する範囲や生活に必要な都市機能の集約を図ることについて、パブリックコメントや説明会から得られた市民の意見を反映し、立地適正化計画を策定しました。
- ・ 学識経験者や関係団体による検討会議とアウトリーチや関係団体へのヒアリングを実施し、「平塚駅周辺地区将来構想」と構想の実現に向けた支援策として「平塚駅周辺地区アクションプラン」を策定しました。また、平塚まちなか活性化ロードマップに基づく平塚まちなか活性化隊の活動を支援しました。
- ・ EC サイト構築支援や専門知識を有するアドバイザーの派遣などにより、個店の販売力や経営力の強化を図りました。また、公民館での技や技術の体験教室の開催や大門市での商品の販売等により、匠の店の認知度向上を図りました。
- ・ 平塚まちなか活性化隊や商店街団体などによる活動を支援するとともに、平塚駅周辺地区の空

き店舗を活用して出店する事業者に対する店舗賃借料や店舗改装費を補助しました。また、個店の魅力を伝えるまちゼミの取組を支援することで、中心市街地のにぎわい創出や商店街の活性化を促進しました。

- ・西部郊外部の「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」をモデルとして、産官学民の協働で地域資源である里地里山を保全・再生するための検討を進めるとともに、協議会主体で開設した農作業学習体験農園の運営を支援しました。また、里山保全協議会による里山の整備及び管理を行うとともに、市民活動団体を支援しました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・平塚駅周辺地区では、建物や都市基盤の老朽化が進行しており、人が集まり居心地の良いまちにする必要があります。
立地適正化計画や都市計画制度を活用するための調査及び研究を進めるとともに、「平塚駅周辺地区将来構想」の実現に向けて策定された「平塚駅周辺地区アクションプラン」を活用し、官民で連携してまちづくりを進めることで、持続可能なまちづくりを計画的に推進します。
- ・集客や購買につながる商店街団体などの活動を促進するとともに、中心市街地においては、空き店舗対策に取り組むほか、魅力ある商店街づくりを促進する必要があります。
商店街団体が行う販売促進事業などに対し、事業費補助などの支援や空き店舗の活用などに係る補助を行うとともに、商業者など地域が主体となったまちづくりの取組を支援します。
- ・多様な地域資源を活かしながら、地域の活性化を更に進める必要があります。
地域住民や各機関と連携して、環境保全を図りながら、自然活動や農などを活かした取組を推進します。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【地域特性を踏まえた生活利便施設の誘導】（都市計画策定事業）
- 【平塚駅周辺地区における多機能化の促進】（中心市街地活性化推進事業）
- 【魅力ある店舗づくりや商店街づくりの支援】（商店等魅力アップ推進事業、商店街にぎわい創出事業）
- 【環境保全活動や農を活かした取組への支援】（西部丘陵地域資源まちづくり支援事業、里山保全推進事業）